

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2025.3 vol.227

退任のご挨拶

院長 田中 康博



退任のあいさつを申し上げます。

2017年(平成29年)7月に鹿児島医療センター院長に就任し、2025年3月に退任することになりました。約8年間、本当にお世話になりました。前任の指宿医療センターでも8年間院長を務めましたので、院長としては計16年間となります。自分なりにできることはベストを尽くして務めてきたつもりです。私は常に鹿児島の医療の発展を願い、行動してまいりましたが、予測以上の人口減少、少子高齢化、働き方改革などの制度の変化など、地域医療にとっては厳しい時代を迎えようとしています。既存の仕組みではどうにもならず、新しい医療の仕組みを構築すべきと思っています。研修医制度や専門医制度さらに大学医学部の医局の在り方、それに伴う医療者の偏在などに対してもいろいろと解決を試みようとしているものの功を奏していない気がします。私もまだ、鹿児島の医療の発展に貢献したい気持ちはありますが、新しい発想と行動力のある若い人に託したいと思っています。

管理者としてDPCや7:1看護などの導入で、経営的にも向上した病院成長期、新型コロナウイルス感染症パンデミック、さらに少子高齢化による医療の停滞期を経験しました。今後、いかなる状況に見舞われたとしても鹿児島医療センターが担う医療は未来永劫変わることはないと考えています。

さて、私が任期中に行ったことは、ハイブリッド手術、TAVI(カテーテルによる大動脈弁置換術)、Mitraclip(カテーテルによる僧帽弁形成術)、Impella(ポンプ付きカテーテル)、LVAD(心臓補助ポンプ)管理施設、光免疫療法、脳血管カテーテル治療、消化器内科外科の充実、腎臓内科新設、さらに鹿児島通信病院機能移転(合併)による増床(370→410床)、鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校の閉校(大学化)、鹿児島大学連携大学院の講座名変更(生理活性物質制御学→臨床情報医工学)、内科専門研修施設新設などです。今後の鹿児島の医療に役立ってもらえれば幸いです。

今こそ、日本の医療は旧態依然とした医療体制を見直し、新しい医療の仕組みを作らなくてはなりません。人口減少の地域では、今までできていた医療ができなくなってきましたので、どのような対策を打つのか、大難問を突きつけられています。住民の方々、医療関係者にも辛抱してもらうことも出てくるかもしれませんが、お互いに良く話し合い、より適した仕組みを創らなくてはなりません。私は第一線を退きますが、これからも地域医療の小さな歯車のひとつとして関わっていきたいと思っています。

鹿児島医療センターは鹿児島県になくてもならない施設で、地域に役に立つのはもちろん、「すごいと言わしめる病院」を目指さなければなりません。それが鹿児島医療センターの使命であり、鹿児島の住民の皆さまへの奉仕と思っています。今後、ますます鹿児島医療センターが発展することを祈念し、皆様とお別れしたいと思います。本当に有難うございました。素晴らしい経験ができましたこと皆様に感謝いたします。

令和6年度 緩和ケア研修会

令和7年1月11日（土）に鹿児島医療センター緩和ケア研修会を開催いたしました。受講生は、外部からの研修生を含め、医師22名、多職種12名が参加いたしました。

御協力頂いた全ての皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。研修会は今後さらに内容を充実させ開催して参りますので、皆様の御参加、御協力を宜しくお願いいたします。

<緩和ケア研修会に参加して>

先日、鹿児島国際大学伊敷キャンパスで開催された緩和ケア研修会に参加させていただきました。開催までに緩和ケアについての学習を行い、研修会ではディスカッションによる症例検討とロールプレイを行いました。大学から研修医として働くまでに、多くの場面で緩和ケアについて学ぶ機会がありました。しかしながら医者としての立場として考えることが多く、今回の研修会では他職種ならではの視点と疑問点、そこに対する解決方法を学ぶことができました。さらには、入院中だけではなく退院後の生活に必要な支援とそれに関与する院外施設について考えることができました。ロールプレイングではがん告知について医者側と患者側、観察者に分かれスタンダードな対応から各患者それぞれへの配慮の必要があり、これから先も常々正解を探りながら思案しなければならない問題であると再認識させられました。全体を通して、知識と現実の差異を埋める有意義な研修会でした。

今回の研修会の開催にあたり、運営・企画をしてくださった方々へ感謝し、学んだことをこのままにせず自身の挑戦と経験のなかに落とし込めるように精進していきたいと思います。ありがとうございました。

（文責：臨床研修医 尾辻 良彦）



<緩和ケア研修会に参加して>

令和7年1月11日（土）に開催された緩和ケア研修会に参加させていただきました。研修医を始め、多職種の方とがん患者や家族への向き合い方について多様な視点から考えることができました。主に研修会を通して3つのことを学びました。1つ目は、がん疼痛管理についてです。事例を挙げ、がん疼痛の原因や状態について検討し、それに合わせた薬物療法やケアの方法を話し合いました。私は以前、がん疼痛で苦しんでいる患者を目の当たりにしたことがあったのですが、どう対応したらいいのかわからない状態でした。しかし、今回事例を通して多職種の意見も聞き、今後そのような場面に遭遇した時にどう対応するかを考えることができました。2つ目は、がん医療におけるコミュニケーションについてです。医師役、患者役、観察者に分かれてロールプレイを行うことで、医師役の際はがんを告知する難しさ

を感じ、患者役の際は先の不安から質問がたくさん浮かび、医療者はそのような患者の気持ちに寄り添う説明の仕方や沈黙の使い方が大事であると実感しました。最後に、がん患者の療養場所の選択についてです。事例を通し考えることで、がん患者や家族の希望を実現するには医療福祉従事者間のコミュニケーションや顔の見える関係、信頼関係を築くことの大切さを感じました。

このように研修会では様々な学びがあり、とても有意義なものとなりました。今回得たものを臨床の場で生かせるようこれからも精進して参ります。研修会を開催するにあたり、企画・運営をしてくださったスタッフの方々に感謝いたします。ありがとうございました。

(文責：臨床研修医 穂満 玲美)



新任紹介



血液内科

山本 花

2025年2月より血液内科に赴任致しました山本花と申します。医療センターは2022年に一年間勤務させて頂いた事があり、2年後に戻って来れてとても嬉しく思います。血液内科は医者的人数に比べ、患者（特に重症の患者）が多く、早く役に立つ一人前になれるように頑張参ります。まだ未熟で先生方にはご迷惑おかけする事があると思いますが、よろしくお願い致します。



耳鼻咽喉科

安藤 由実

3月より赴任しました安藤由実と申します。3年前に1年4ヶ月間勤務させて頂きました。当時お世話になった先生やコメディカルの方々に再会できて大変嬉しく、また安堵しております。1日も早く病院のシステムを思い出し、皆様や患者さんに貢献できるように努めてまいります。至らない点もあるかと存じますがご指導、ご助力のほど宜しくお願いいたします。

鹿児島医療センター 外来診療担当表(2025年4月) TEL:099-223-1151(代) 2025年4月1日現在

診療科		日	月	火	水	木	金
血液内科	初診		大塚 真紀	原口 浩一	山本 花	大塚 真紀	大渡 五月
	再診		大塚 真紀	大塚 真紀	大渡 五月	大塚 真紀	大渡 五月
	移植後フォローアップ外来※		山本 花	原口 浩一	山本 花	原口 浩一	
血液内科医師及び看護師(完全予約制)							
糖尿病・内分泌内科			郡山 暢之	児島 奈弥 和田 華菜子	郡山 暢之	西尾 善彦 平原 涼太郎	郡山 暢之
糖尿病療養指導外来※			糖尿病看護認定看護師				
消化器内科	消化管・胆膵		福森 光 藤本 敦	福森 光 湯澤堂 遙	福森 光 藤本 敦	「処置日」	福森 光 湯澤堂 遙
	肝臓		櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏
腎臓内科			古庄 正英 外山 裕貴 (CKD連携外来)	腹膜透析外来	「手術日」	古庄 正英 倉八 孝行 (CKD連携外来)	外山 裕貴(第2金曜以外) 古庄 正英(第2金曜のみ)
第一循環器内科			片岡 哲郎 茶園 秀人 有村 俊博	片岡 哲郎 高崎 州亜	茶園 秀人 今村 春一 中島 均	福信 愛 隈元 健吾	片岡 哲郎 高崎 州亜 向井 麟太郎
第二循環器内科 *弁膜症外来 火曜日			園田 幸一郎 中別府 麻里	東 健作 平塚 聖久 後藤 淳一	園田 正浩	石川 裕輔 伊集院 駿 田中 康博	園田 正浩 馬場 善政
不整脈治療科			塗木 徳人	塗木 徳人	蔡 榮鴻	二宮 雄一	塗木 徳人
脳・血管内科			松岡 秀樹 濱田 祐樹 池田 め衣 物忘れ外来 (再診/午後)	松岡 秀樹 浜田 恭輔 岩元 佳奈	松岡 秀樹 佐藤 健朗 池田 め衣	松岡 秀樹 濱田 祐樹 もの忘れ外来 (初診/午後)	松岡 秀樹 佐藤 健朗 川畑 裕太郎
小児科 *心臓健診 月曜日～金曜日			田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子	田中 裕治 長濱 潤	田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子 吉永 正夫
放射線科	放射線治療		西森 宏雄		西森 宏雄	西森 宏雄	西森 宏雄
	画像診断 CT・MRI・RI		井手上 淳一 鮎川 卓朗	井手上 淳一 鮎川 卓朗	鮎川 卓朗	井手上 淳一 鮎川 卓朗	井手上 淳一 鮎川 卓朗
心臓血管外科			向原 公介		峠 幸志		永富 脩二
外科・消化器外科				塗木 健介 崎田 浩徳 佐竹 翔一		塗木 健介 崎田 浩徳 佐竹 翔一	
脳神経外科 *水曜日は、手術日のため外来診療休止			橋渡 貴昭	橋渡 貴昭	「手術日」	橋渡 貴昭	井上 恵理
婦人科			神尾 真樹 永田 真子 鬼ヶ原 幹久 福西 優花	神尾 真樹 永田 真子 鬼ヶ原 幹久 福西 優花	「手術日」	神尾 真樹 永田 真子 鬼ヶ原 幹久 福西 優花	神尾 真樹 永田 真子 鬼ヶ原 幹久 福西 優花
耳鼻咽喉科 *完全予約制			松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾
泌尿器科 *火曜日は、手術日のため外来診療休止			川平 秀一郎	「手術日」	川平 秀一郎	川平 秀一郎	川平 秀一郎
皮膚腫瘍科			松下 茂人 青木 恵美 戸澤 貴久	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 岩田 昌史(第2・4週) 戸澤 貴久(第1・3・5週)	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 岩田 昌史
眼科 ※ 外来診療のみ			中尾 久美子 午後 休診	中尾 久美子	午前 休診 中尾 久美子	中尾 久美子	中尾 久美子
歯科口腔外科			中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子
専門外来	医師		緩和ケア外来 松崎 勉		腹水外来 櫻井 一宏		がんゲノム医療相談外来 鈴木 紳介
	看護師		フットケア外来 糖尿病看護認定看護師		リンパ浮腫外来 リンパ浮腫指導技術者	ストーマケア外来 皮膚・排泄ケア認定看護師	
セカンドオピニオン外来※			循環器疾患、心臓血管疾患、脳血管疾患、がん、悪性新生物、血液疾患				
マルチモビリティ外来※			第2循環器内科	第1循環器内科	脳血管内科	腎臓内科	消化器内科
『健康診断』				第一循環器内科	第二循環器内科		脳・血管内科
受付 午前8:45～10:00							

受付時間 午前8時45分から11時00分まで

診療時間 午前8時45分から午後5時15分まで*ただし、急患についてはこの限りではありません

休診日 土・日曜日・祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)

※移植後フォローアップ外来・糖尿病療養指導外来・専門外来・セカンドオピニオン外来・マルチモビリティ外来については完全予約制となっております。事前に電話確認をお願い致します

*不在予定医師につきましてはお電話またはホームページにてご確認ください

*歯科診療に関しては当院入院患者さまのみとなっております

予約センター

・専用FAX:0120-334-476 ・専用TEL:0120-680-704

■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>

メディカルサポートセンター

地域連携室専用FAX▶099(223)1177

※休日・時間外は当直者で対応します。

